

鹿児島県の家きん農場で 高病原性鳥インフルエンザを確認！

2月11日、鹿児島県南さつま市の家きん農場で高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認されました。今シーズン国内9例目、鹿児島県では2例目の発生となります。

飼養衛生管理基準に基づく予防対策を徹底してください。(裏面参照)

高病原性鳥インフルエンザ（H5亜型）発生状況（R6.2.11 現在）

塗りつぶし：発生都道府県

【家きん9例目】

- 鹿児島県南さつま市
- 飼養状況：約5,400羽
(肉用種鶏)
- 疫学関連農場
(1農場、約7,600羽)
- 確定日：2/11

家きん農場

8県9事例

野鳥

23都道府県
101件

飼養鳥 2府県2件

▶家きん舎には様々な経路からウイルスが侵入します。今一度、点検・確認と補修をお願いします。

▶毎日、健康観察を行い、異状を発見した時は直ちに当所へご連絡ください。

京都府山城家畜保健衛生所 TEL:0774-52-2040(夜間・休日転送)
FAX:0774-52-2030

飼養衛生管理基準の遵守状況の点検を！

鶏、あひるなど家きん飼養者の皆様へ

家きんを飼われている皆様には、野鳥の侵入防止、鶏舎及び衛生管理区域内の消毒など飼養衛生管理基準に基づく発生予防対策をお願いします。

特に、次の飼養衛生管理基準7項目の遵守状況を点検してください。

- ① 衛生管理区域に立ち入る者の手指消毒等（項目15）
- ② 衛生管理区域専用の衣服及び靴の設置並びに使用（項目16）
- ③ 衛生管理区域に立ち入る車両の消毒等（項目17）
- ④ 鶏舎に立ち入る者の手指消毒等（項目25）
- ⑤ 鶏舎ごとの専用の衣服及び靴の設置並びに使用（項目26）
- ⑥ 鶏舎外での病原体の汚染防止（項目28）
- ⑦ 衛生管理区域内の整理整頓及び消毒（項目32）

発生予防のポイント

農場に入る全ての

人・車両・物品の衛生対策



周囲にはウイルスがあると認識。
農場内・家きん舎内には入れない。

衛生管理区域・家きん舎ごとに
専用の長靴を着用



着替え・履き替えの前後で
交差しないよう境界を明確に。

ウイルスを媒介する

野生動物の侵入防止対策



「農場に近寄らせない」
「農場内に入れない」
「ネズミ・ハエ等の定期的な駆除」